

郷土を語り
人々の輪が広がる

東京奈良県人会レター

編集発行所：一般社団法人 東京奈良県人会 発行人：榎本 俊洋（2019年夏号）

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-6-3 奈良県東京事務所内 電話 03-5210-2838 HP: <http://tkynarakenjinkai.jimdo.com/>

TOKYO NARA HUMAN NETWORK NEWS NO. 46

●● 令和元年度東京奈良県人会総会 ●●

古里を誇りに

令和元年度総会が6月15日(土)12時から東京都台東区の水月ホテル鷗外荘で開かれた。会員ら約60人が出席した。

冒頭、榎本俊洋会長は「海外から奈良への観光客は増加し年々注目が高まっている。古里を誇りに思い東京から奈良を盛り上げたい」とあいさつした。総会は榎本議長が議事を進行。松本昌之理事が平成30年度事業報告の中で会員数は254人と報告。続いて植嶋平治副会長が収支決算を報告した。令和元年度事業計画案には文化交流会として9月22日(土)にサッカークラブ「奈良クラブ」が茨城県龍ヶ崎市で行う試合観戦ツアーを企画。大勢の参加を呼びかけた。また同年収支予算案を提案。また、新理事に辰巳昌良防衛省政策立案総括審議官(大和郡山市出身)を選任。それぞれ賛成多数で承認された。

辰巳新理事は大和郡山市立郡山南小学校、奈良女子大附属中学校・高校を卒業。東京大学卒業後、防衛庁に入庁。「仕事を40年近く続けてこられたのは奈良で生まれ育った20年間があったからこそ。奈良県に少しでも恩返しできれば」と就任のあいさつをした。

続いて奈良県東京事務所の浅田輝男所長から榎本会長に県政協力団体謝礼金が授与された。

懇親会では地酒や柿の葉すしなどの郷土の美味が振舞われた。途中、初参加者の自己紹介や奈良県出身者の学生寮「養徳学舎」の学生による近況報告が行われた。また、豪華景品が当たるジャンケン大会は大いに盛り上がった。初参加で天理大学を卒業した会社員岩崎元地さんは「皆さんに温かく迎えてもらい、とても嬉しい。今後も奈良県や天理の母校に貢献したい」と話した。

昨年まで理事を務めた中村慶一さんは中締めのみあいさつの中で切り株から生える新芽「ひこばえ」は東京奈良県人会のシンボルマークになっていると説明。

「ひこばえは 生いや茂れる 在りし日の 梢を凌ぐ 生氣うるはし」と自作の句を詠み会を締めくくった。



あいさつに立つ榎本会長



理事に就任した辰巳昌良さん



豪華景品が当たるジャンケン大会

●● 若手の会 第28回例会「令和と万葉集」 ●●

新元号「令和」と出典の万葉集について学ぶ例会が令和元年7月20日、東京都中央区の奈良まほろば館で開かれた。奈良県立万葉文化館(明日香村)の大谷歩主任研究員が「令和と『万葉集』—梅花の歌と中国文学」と題し講演。35人が参加した。

令和の出典は万葉集梅花の歌三十二首の序文にある。大谷さんは古代日本は海外文化を取り入れながら独自の日本文化を築き上げていて漢字で書かれた万葉集も中国の文献を理解しなければ本来の意味が分からないと解説。中国の文人にとってすばらしい風景の中で仲間たちと酒を酌み交わしながらそれぞれの思いを詩歌に詠むことが理想の宴とされていた。梅の花の歌の作者で中国文学への深い教養と文人の志を持った歌人大伴旅人は大宰府に赴任中、仲間たちと梅の花が見ながら酒を飲み故郷奈良への望郷の念を歌に詠んだという。

大谷さんは「旅人が外国文化を取り入れて新たな日本文化を創造した点を私たちも学び万葉集に親しんでもらいたい」と話した。



「令和」と万葉集について講演する大谷歩さん

●● 文化交流会(その1) 奈良クラブで奈良を変えよう ●●

奈良ゆかりの文化人を招いて奈良文化に親しむ令和元年度文化交流会が令和元年8月1日(木)午後7時、東京都千代田区のパソナビル2階ホールで開かれた。奈良県のサッカーチーム「奈良クラブ」の中川政七社長が「奈良に火をつける」と題し講演。会員ら100人が参加した。

中川社長は300年続く奈良晒の老舗「中川政七商店」(奈良市)13代目として和物雑貨店や伝統工芸再生コンサルタントとして活躍。近年、首都圏にも多くの店舗を展開し若手経営者として注目を集めている。

昨年10月、株式会社奈良クラブ社長に就任し「サッカーを変える 人を変える 奈良を変える」をビジョンに掲げ同クラブのJリーグ昇格と奈良県の活性化に注力している。中川氏は奈良に関係する人たちが「学び」を通じて奈良の魅力あるコンテンツを一つ一つ作り出していくことの必要性を説き「学びの都・奈良」というブランディングを目指すと語った。「みんながその気になることが大切。『奈良クラブ一味』として奈良クラブで奈良を変えましょう!」と呼びかけた。



「奈良を変えよう」と呼びかけた中川政七社長

●● 奈良まほろば館からのお知らせ ●●

今年開館10周年を迎えた奈良まほろば館では、夏以降もイベントや講座・講演会を充実し、皆様のご来館をお待ちしております。

8月～9月**■ 国宝薬師寺東塔落慶記念展示～平成の解体修理と祈り～****8月22日(木)～9月5日(木)**

薬師寺創建当初から唯一残る建物である東塔(国宝)は、2009年より創建以来初の全面解体修理が行われ、2020年4月に大修理が完了し落慶法要が行われます。まほろば館では、修理現場の写真やこれまでの伽藍復興の様子などから、東塔の今と、東塔に込められた祈りを紹介します。

■ 橿原神宮 神武天皇御一代絵巻～はじめの天皇のものがたり～**9月7日(土)～9月17日(火)**

神武天皇を祀る橿原神宮と周辺地域の魅力を、ポスター、パネル、映像等で紹介します。

■ 第3回ならPHOTO COTEST受賞作品展 9月19日(木)～9月26日(木)

奈良市写真美術館が公募した第3回ならPHOTO CONTESTの受賞作品の中から展示します。

■ 吉野大峯世界遺産登録15周年記念～世界遺産吉野大峯展～**9月28日(土)～10月6日(日)**

大峯奥駈道を含む「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産に登録されて15周年。これを記念して、吉野大峯の自然・文化を伝えるパネル等の展示を実施します。

10月**■ DEEP YOSHINO 下市町&黒滝村～わくわく魅力満載展～(仮)****10月8日(火)～10月17日(木)****■ 王寺ウィーク(仮) 10月26日(土)～11月1日(金)****11月****■ 漢方メッカ展 11月2日(土)～11月4日(月・祝)****■ 聖徳太子ゆかりの里ウィーク(仮) 11月6日(水)～11月12日(火)****■ 五條ってどんどこ？～日本一の柿のまち奈良県五條市～****11月14日(木)～11月21日(木)****■ 出雲と大和 11月23日(土・祝)～12月5日(木)**

日本書紀成立1300年を記念して東京国立博物館で来年1月15日から開催される特別展「出雲と大和」を紹介する展示を行います。

12月**■ 神々の降る里 御所市 12月7日(土)～12月12日(木)****■ チャリティ書画展 12月13日(金)～12月15日(日)****■ 靴下展示販売会・「The Pair」・「咲良史歌鹿(葛和紙)」****12月17日(火)～12月23日(月)**

【ショップのイチ押し】

■夏季限定「柿氷」の販売

全国2位の出荷量を誇る奈良の柿で作った柿ピューレと葛餅をトッピングした「柿氷」を、夏季の土・日・祝日限定で販売します(1杯500円)。

お立ち寄りの際にぜひご賞味ください。



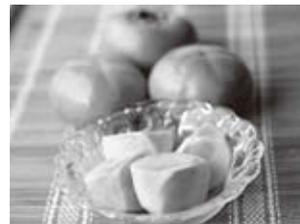
■奈良県産「イチジク」の試食販売会

8月23日(金)～8月24日(土)

■奈良県五條市産の「ハウス柿」の試食販売会

8月30日(金)～9月1日(日)

奈良産の旬の果物を味わってください。ご来店をお待ちしております。



●● 県人会会員証の発行 ●●

東京奈良県人会では今年度も会員の皆様にお得な特典付き会員証を発行いたします。日本橋の奈良まほろば館1階ショップや居酒屋「あをによし」での割引のほか、同館2階のフリースペースの優先利用など会員特典につきましては、同封のご案内を参照ください。

●● 今後の予定 ●●

●令和元年度 文化交流会(その2)のご案内

■奈良クラブ大応援団バスツアーVS流経大ドラゴンズ龍ヶ崎

2019年9月22日(日)茨城県龍ヶ崎市

奈良県のサッカーチーム「奈良クラブ」の試合が9月22日(日)、茨城県龍ヶ崎市で開催されます。東京奈良県人会は、試合会場に足を運びアウェーの奈良クラブを応援する「奈良クラブ大応援団バスツアー」を企画しました。試合前に春日大社(奈良市)とゆかりの深い鹿島神宮を参拝し必勝祈願します。郷土のクラブを共に応援しましょう!!

日時:2019年9月22日(日)15時キックオフ

会場:龍ヶ崎市陸上競技場たつこのフィールド(茨城県龍ヶ崎市中里2-1-7)

集合:9時・奈良まほろば館前(東京都中央区日本橋室町1-6-2)

行程:鹿島神宮、龍ヶ崎市陸上競技場

試合:15時キックオフ～17時

解散:19時頃奈良まほろば館 ※到着時間は道路状況により前後します。

参加費:3500円(当日お支払いください)

会費納入のお願い 年会費未納の方には振込用紙を同封していますので、お振り込みをお願いします。

【振込先】

ゆうちょ銀行 郵便局用振替用紙(口座番号等:00170-2-323480)

※他金融機関からの振込の場合は〇一九(ゼロイチキョウ)店 (当)0323480

南都銀行 東京支店(普)2002626

一般社団法人東京奈良県人会

【年会費】

一般会員:3千円

参与会員:1万円

賛助会員:1口2万円×2口以上